

ガザ攻撃反対デモ参加者を逮捕・国外追放

トランプ政権 留学生の取り締まり強化

ビザ無効化 逮捕・国外追放

2 期目のトランプ政権は政権発足時から矢継ぎ早に大統領令を発し、世界中を振り回している。イスラエルのガザ攻撃、パレスチナ住民に対するジェノサイドは国際的に非難されているが、昨年来アメリカの大学キャンパスでジェノサイドに抗議する抗議行動が広がった。トランプ政権はこの抗議行動に立ち上がった海外からの留学生を拘束し、正当なビザや在留資格を持っていても国外追放の動きを強めている。

これに対して、アメリカの憲法が保障する言論の自由、表現の自由を守ろうとする抵抗運動も広がっている。

ガザ住民皆殺しに抗議した大学院生 逮捕され国外追放迫る

コロンビア大学の元大学院生のマフムード・カリル氏は、今年3月8日に逮捕された。同氏は昨年、コロンビア大学で広がったガザ住民皆殺しに抗議し、パレスチナを支援する活動に参加し、同時に抗議活動グループと大学当局との交渉仲介者となっていた。全国的に広がっていったガザのパレスチナ人に対するジェノサイド（無差別大量殺害）への抗議活動で注目される活動家となっていた同氏がパレスチナ支援活動でトランプ政権による最初の逮捕者となった。

※¹ DemocracyNow 4月3日 [First They Came for Mahmoud Khalil | Democracy Now!](#)

この事件はトランプ政権の公約＝パレスチナを支援する活動家を国外追放するという公約の焦点となった。しかし、マフムード・カリル氏の国外追放に対して連邦地方裁判所判事は一時的差し止め命令を下した。

逮捕の理由を国家安全保障省は、カリル氏が「政府の外交政策と相容れないとみなされ国外追放とする」としている。

これに対して、カリル氏の弁護士は、これは、ガザにおけるイスラエル軍の攻撃にカリル氏が率直に抗議行動したことに対する報復であり、合衆国憲法が保障する言論の自由への攻撃であると訴えている。

※² Reuters 3月13日 [Judge extends ban on Columbia student's deportation from US | Reuters](#)

連邦裁判所が国外追放を差し止める

3月10日、ニューヨーク市で数百人がマフムード・カリル氏の釈放を求めて抗議行動を行い、連邦地裁判事は同氏への裁判管轄権を確保するために国外追放を差し止める決定を下した。

カリル氏の妻は「皆さん、私の目を通して私の愛するマフムードと今生まれてこようとする私たちのベビーを見てください。マフムードを我が家に取り戻し私たちの最初の子どもの出産の時、私の手を握っていてほしいのです」と訴えた。

※³ NBC NEWS 3月10日 [Judge says Palestinian activist Mahmoud Khalil can't be deported as protesters call for his release](#)

トランプ大統領はマフムード・カリル氏の逮捕は「最初の一人」だとし、さらに逮捕・国外追放があると3月11日に自身のソーシャルメディアで次のように書いている。

「我々は、コロンビア大学やその他の大学にテロリストを支援し反ユダヤ主義、反アメリカ主義の活動を行っている活動家のいるこ

とを知っているが、我々はそれを容認しない。彼らは学生ではなく、報酬を受けて活動するアジテーターだ。これらのテロリスト支持者は捜し出し、逮捕して国外に追放して2度とアメリカの戻ってこれないようにする」。

※⁴3月11日 [Truth Social](#)

しかし、トランプ大統領と政府はマフムード・カリル氏やその他の抗議活動参加者について彼らに対する「容疑」を証明する証拠を示してはいない。

カリル氏を釈放しろ

請願署名300万筆を超える

3月12日 Newsweek 電子版は、マフムード・カリル氏の釈放を求める請願署名が300万筆を超えたと伝え、この問題が大きな関心を集めていることを報じている。同記事では「なぜこの事件が問題になるのか」として、この事件は言論の自由と強制国外追放の問題であると指摘。

同紙はトランプ大統領が「カリル氏の逮捕は今後大量に続く逮捕の最初の一人だ」と明言していることをあげて、短期間に多数の人々が署名に応じたのは人々の関心と抵抗の大きさを示していると解説している。

※⁵3月12日 Newsweek [Mahmoud Khalil Fundraiser Hits New Milestone - Newsweek](#)

マサチューセッツ州タフツ大学でも

AP 通信は3月27日の電子版で、3月25日にタフツ大学(米マサチューセッツ州)の大学院学生ルメイサ・オズトゥルクさんが帰宅途中、6名の覆面をした政府職員に路上で拘束されたことを報じている。オズトゥルクさんは、叫び声を上げ携帯電話を取り上げられ手錠をされて連れ去られた。

オズトゥルクさん側の弁護士は「我々は彼女がどこにいるのか知らされず、何の罪状も知らされていない」と述べ、近所で拘束を目撃した人は「覆面をした政府職員が住宅街で彼女を拘束した」と言い、「まるで誘拐事件の

ようだった」と32歳のソフトウェアエンジニアは語っている。

タフツ大学学長は「大学は事前の通知を受けていないし、この問題について当局と情報を共有していない」と説明した。

民主党のアヤナン・プレスリー下院議員(マサチューセッツ州)はこの逮捕を「ルメイサさんの憲法上の権利の恐るべき侵害だ」と批判。彼女は直ちに釈放されるべきであり、我々はトランプ政権が権利を持つ学生を誘拐し、基本的な権利を攻撃するのを黙ってみているわけではないと声明した。※⁶3月12日 AP News [Watch: Masked ICE officials detain Tufts University student Rumeysa Ozturk | AP News](#)

500名のビザが無効に

米国内の大学で海外からの留学生500名のビザがこの数週間で無効にされている。学生たちは大学内での抗議活動やパレスチナへの支援あるいはソーシャルメディアの共有、軽微な違反、社会を「不安定にする」抗議活動への参加を理由としてビザを剥奪されている。※⁷4月10日 FINANCIAL EXPRESS [Student Visas: US cancels 500 visas in major blow to international students - World News | The Financial Express](#)

国外追放を許可の判断 移民裁判所

移民裁判所は4月11日、マフムード・カリル氏を海外追放ができるとの判断を示した。この判断はトランプ政権がターゲットにしている数百人の留学生に影響を及ぼす。判事はカリル氏側に4月23日までに救済の申し立て期限を与えた。カリル氏の弁護チームは期限までに申し立てを行うとし、移民問題専門機関からは移民裁判所ではなく連邦裁判所が最終判断をするとの見通しが出された。

※⁷4月12日 ABCNews [Judge rules Columbia activist Mahmoud Khalil can be deported](#)

(金融・労働研究ネットワーク 田中均)